



長野市茶臼山動物園&城山動物園のSDGsの取り組み

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称です。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17のゴールと169のターゲットで構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



長野市茶臼山動物園では合計72種を飼育し、城山動物園では、合計33種の動物を飼育しています。

長野市茶臼山動物園、城山動物園を管理している

(一社)長野市開発公社は2022年4月より推進企業として登録されています。

主に以下のようなSDGsにつながる取り組みを行っています。



主な取り組み	関連する目標
絶滅危惧種の飼育・展示	13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを 守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
動物の生息域外保全	15 陸の豊かさも 守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
世界動物の日ガイド	4 質の高い教育を みんなに 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを 守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう
エコキャップ回収	12 つくる責任 つかう責任

